

【次の時代に残すために】

福岡県 北九州市立洞北中学校 二年 田中 優羽

「群撃折軸」（ぐんけいせつじく）これは微細なものでも数多く集まれば大きなものになる。また、小さい力もこれを合わせ集めれば大きなものになるということのたとえである。私はこの地球の限りある水を大切に使うためにこの言葉を忘れてはいけないと思う。

まず私は、水はたくさん種類があるが何が違うのか気になったため調べてみることにした。インターネットで調べてみると一番初めに出てきたのが「ミネラルウォーター」という水。聞いたことはあるがどのようなものか詳しく知らなかったため、興味がわいた。

まず、私が毎日飲んでいる水道水について調べることにした。水道水は浄水場からきている。その浄水場の水はダムや河口からきている。その水は砂や土を沈めて取り除く沈砂池や、ろ過池など大きく六つの工程を通してきれいな水になり、私たちのもとへと行きわたる。一方でミネラルウォーターは地下水でできている。そのため、水道水とは違い、たくさん工程を通さずに済むのだ。また、目的に応じてミネラルと呼ばれる骨や筋肉を作る元となる栄養素の量を調節することが可能である。このような調べたことをもとに母と実験をしてみることにした。同じコップを三つ並べ、その中と同じ量の水道水・ろ過水・ミネラルウォーターを入れて匂いと味を比べてみた。私は何もわからなかったけれど、母は、

「水道水とミネラルウォーター全然違うー！」

と言った。本当にそうなのか確かめるため、三つのコップをバラバラにしてどれが水道水なのか当てる簡単なゲームをした。すると、本当に水道水を当てたのだ。母によると、まろやかさや匂いでわかるそうだ。そんなおいしい「水」だが、時には多くの命や大切なものを奪うこともある。私が一番記憶に残っている水害は九州北部豪雨だ。この豪雨は二〇一七年七月五日から六

日にかけて発生した集中豪雨だ。主な被災地は朝倉市や東峰村などである。川が増水し氾濫。電気やガス、水道等のライフラインも寸断された。私の家族は東峰村の特産品である小石原焼がとても好きでそこに行ったときには必ず買うほどである。だが、この豪雨によりたくさんの方々が全壊したり、たくさんの方々が焼死したりしたそうだ。そのことを知ったときはとても心を痛めた。

このように水はしずく一粒では何にもならないが、そのしずくがたくさん集まれば、建物も人々の生活も一気に壊れてしまう大きな力を持っている。そんな二つの顔を持つ水と私たちがうまく付きあっていくには、人間がもつと水のことを知り、有効活用していくことが大切だと考えた。そのために私は家族みんなで取り組むことができる簡単な「節水」に取り組むことにした。歯みがきをするときはコップを使うことや、お風呂の残り湯を洗濯の水として使うこと、洗剤など使いすぎずできる限り少ない水ですすぐようにするなど簡単にできることから始めようと思う。「一人の小さな力が集まれば大きな力になる」この言葉を信じてより多くの人に水の大切さを伝え、限りある資源の水をこれから先もずっと使い続けるために節水を心がけ、日々の生活を送っていききたい。